

■2018年度 第7次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 北河内二次医療圏

項目	中間年(2020年)までの取組み (計画より転記)	2018年度の実績内容と結果(予定含む) (左記取組み内容を記載)		次年度以降の取組み予定
		取組み内容	着手状況 (◎:実施 ○:今年度実施予定 △:次年度以降実施予定)	
地域医療構想	「大阪府北河内保健医療協議会」等において、今後予測される高齢者人口の増加に伴う医療ニーズに合わせ地域で必要となる医療機能を検討します。	9月・11月の病院連絡会での意見を踏まえ、大阪府北河内医療・病床懇話会(11月28日)、大阪府北河内保健医療協議会(12月26日)において圏域内の各病院が地域で担う役割等を確認し、地域に必要な病床・医療機能、連携方策を検討。	◎	病院連絡会等を継続して開催し、地域に必要な医療機能、連携方策について検討します。
	医療体制の充実に向け、公的病院・民間病院等各医療機関の担う医療機能を踏まえ圏域の状況に即した病床機能分化・連携推進を図ります。	病床機能報告対象病院を対象に病院連絡会を北河内圏域単位で開催し、各医療機関が担う役割、地域に必要な病床・医療機能および圏域での連携方策について検討しました。(第1回9月12日実施、第2回11月8日)	◎	病院連絡会を開催し、引き続き医療提供体制の現状・課題について協議するとともに医療連携機能強化および病院の自主的な取組みを支援します。
在宅医療	圏域において安定した在宅医療を提供するため、関係機関、行政が参画する在宅医療懇話会等を開催し、後方支援体制を整備する等の取組みを行います。	圏域の在宅医療懇話会を開催し、全体討議およびグループワークで「在宅医療推進のあるべき姿」に向けて、課題を話し合い、今後、取組むべきことを検討しました。(9月27日実施)	◎	在宅医療懇話会等を開催し、引き続き在宅医療提供体制の現状と課題について協議するとともに、在宅医療機関の求めに応じて24時間患者受入れ可能な後方支援病院や在宅医療に関するサポートセンターの必要性について協議します。
	入退院時において病診連携、多職種連携を図るため、研修会の開催等を支援します。また連携シートやICT活用の理解のため、すでに取組んでいる地域の事例を報告する等、情報共有等の支援を行います。	在宅医療懇話会において、各市の高齢福祉担当でグループワークを行い、医療・介護の連携シートに関する現状と課題について情報交換を行いました。(9月27日実施)	◎	在宅医療懇話会等を開催し、医療・介護の連携シートの作成や利用状況について引き続き検討を行い、課題や方法を協議します。
がん	北河内がん診療ネットワーク協議会と連携し、圏域におけるがん診療体制の現状把握・分析に努めます。さらに、病病・病診連携の推進及び緩和ケア提供体制の充実に図るための方策を検討します。	北河内がん診療ネットワーク協議会に参画し、参加各機関のがん診療体制の現状把握を行います。また、厚生労働省データブック等のデータをもとに病病・病診連携及び緩和ケア提供体制の指標を同協議会と共有し、方策を検討する予定です。(第1回8月21日実施、第2回2月予定)	○	北河内がん診療ネットワーク協議会への参画及び同協議会との情報共有と方策検討を継続実施します。
脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病	脳血管疾患に関しては、脳卒中医療機関ネットワーク会議を引き続き開催し、急性期から回復期及び維持期・在宅医療との切れ目のない医療連携を推進します。	脳卒中医療機関ネットワーク会議を2回開催し、急性期から回復期及び維持期・在宅医療との切れ目のない医療連携についてパスの活用状況や課題を共有し、医療連携に関わるツールについて検討を実施します。(第1回9月6日、第2回2月7日実施予定)	○	脳卒中医療機関ネットワーク会議を開催し、急性期から回復期及び維持期・在宅医療との切れ目のない医療連携を推進できるよう支援します。
	心血管疾患の患者にかかる医療連携の状況を地域で診療に携わる医療従事者間で共有する医療ネットワーク会議を引き続き開催し、患者手帳等の連携ツールの活用や病診連携及び多職種連携を推進します。	ネットワーク会議の委員を医療機関の地域医療連携担当者に拡大して年1回(7月21日実施)開催し、連携ツールに関する協議を行いました。多職種連携研修会を開催し、連携ツールについて医療機関の先駆的な取組みの報告を行い、連携推進を図りました。(11月10日実施)	◎	北河内圏域心疾患医療ネットワーク会議を開催し、病院単位の連携ツールの活用を推進するとともに、効果的な活用について共通認識できるよう支援します。
	糖尿病ネットワーク会議を引き続き開催し、病診、診診連携にとどまらず、糖尿病連携手帳を活用し、医歯薬連携の促進を図ります。	糖尿病ネットワーク会議を開催(12月3日)し、糖尿病連携手帳の活用について三師会及び各病院での状況を把握し、さらなる医歯薬連携の促進について検討しました。圏域の一部では手帳の啓発ポスターを既に配付しています。	◎	糖尿病ネットワーク会議を継続して開催し、医歯薬連携体制について具体的に検討する予定です。

■2018年度 第7次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 北河内二次医療圏

項目	中間年(2020年)までの取組み (計画より転記)	2018年度の実施内容 (左記取組み内容を記載)		次年度以降の予定
		取組み内容	着手状況 (◎:実施 ○:今年度実施予定 △:次年度以降実施予定)	
精神疾患	多様な精神疾患等に対応できる医療体制を構築するため、医療機関ごとの機能・役割を明確化するとともに、医療機関関係者等による協議の場を設置し、医療の充実と連携体制の構築を図ります。	精神医療懇話会を開催(10月26日)し、精神医療体制について各種データ等に基づいて分析し、圏域における医療の充実と連携体制の構築に向けて、諸課題について協議しました。	◎	精神医療懇話会を継続して開催し、圏域の諸課題を検討しながら、医療機関ごとの機能・役割を明確化し、精神医療の充実と連携体制の構築を図ります。
	依存症専門プログラム等の医療ニーズの円滑な提供を図るため、他圏域の専門医療機関を含む医療機関間の連携をめざします。また、関係機関職員向けの研修を実施する等、依存症関連課題の支援体制を広げ、スムーズな連携をめざします。	精神医療懇話会を開催(10月26日)し、依存症専門プログラム等の医療ニーズの円滑な提供に向けて、課題を協議しました。また、保健所においては、様々な啓発活動、関係機関職員等への研修、依存症に関する相談機会の提供などを実施し、支援体制の拡大とスムーズな連携を図っています。	◎	精神医療懇話会を継続して開催し、依存症にかかる医療機関間のさらなる連携を図るとともに、引き続き保健所や関係機関の連携により依存症関連課題の支援体制を広げていきます。
	長期入院者の地域移行支援について、関係機関によるネットワークを推進するとともに、保健所圏域や市の自立支援協議会等の協議の場で、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築のための課題について検討します。	保健所圏域及び各市の自立支援協議会等において、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る協議の場の設置準備を年度内に実施します。	○	保健所圏域及び各市の自立支援協議会等に設置された、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る協議の場において、地域移行や地域定着を推進するための医療と福祉との関係機関によるネットワークを進めます。
救急医療、災害医療	圏域内の市、医師会ほか関係機関と連携し、救急車の適正利用に係る住民啓発の他、初期・二次・三次救急医療機関間の相互連携の強化並びに役割分担の明確化のための方策を検討します。	救急医療懇話会を2月に開催し、圏域内消防の搬送及び搬送後の医療機関データを元に救急搬送・受入状況に係る実施基準検証を実施予定です。	○	データ分析と課題抽出を継続実施し、連携体制について役割分担の明確化の方策を検討します。
	初期救急医療機関のうち、深夜帯対応を行っている医療機関は小児科において1か所のみのため、関係機関等と連携し、診療日等拡充のための方策を検討します。	救急医療懇話会を2月に開催し、小児における圏域内消防の搬送及び搬送後の医療機関データを元に救急搬送・受入状況に係る実施基準検証を実施予定です。	○	データ分析と課題抽出を継続実施し、連携体制について役割分担の明確化の方策を検討します。
	災害マニュアル策定及びBCP策定が未整備の病院に対して、健康危機管理会議等において策定を働きかけます。	健康危機管理会議や病院立入検査時に医療機関に対して、災害マニュアルやBCP策定について働きかけを行っています。	○	健康危機管理会議や病院立入検査時に医療機関に対して、災害マニュアルやBCP策定状況の確認および策定の働きかけを継続していきます。
周産期医療、小児医療	周産期専用病床を有する総合周産期母子医療センターにおけるNICU等の効率的運用及び医療的ケア児の在宅移行に向けた体制作り等に取り組む等、圏域における周産期・小児医療提供体制の充実強化に向けて取組を推進します。	周産期医療センターである関西医科大学附属病院と圏域内保健所間で合同会議を開催(12月18日)し、在宅移行を見据えた医療的ケア児への、病院と地域保健機関との連携を図るための検討を行いました。	◎	関西医科大学附属病院と圏域内保健所間で合同会議を引継ぎ開催し、支援体制づくりに取り組んでいきます。